

No.162 2023.7.30(令和5年)

にしあいつぎ議会だより



目次 定例会報告2P 新人議員紹介6P 一般質問7P 議会の新体制 14P

令和5年6月定例会

6月定例会は、6月9日～13日まで行われました。町から提出された議案を全て原案の通り可決し、その他、町からの報告、請願、意見書についても議論しました。また、一般質問では6名が登壇し、町の考えや対応を問いました。

令和5年度一般会計補正予算（第3次）を可決

国の補助事業を活用した石高（コクダカ）プロジェクトの新規計上、電力・ガス・食料品の価格高騰対策として非課税世帯に対して3万円を給付する給付金などに関わる経費など、合計7,399万4,000円が補正予算に計上されました。

〈 補正予算に対する主な質疑 〉

国際芸術村事業活動支援費補助金



多賀 剛 議員

問 事業の内容は。

答 台湾から芸術家3名を招いて町内のNPO団体が行う事業。内容としては、町内の地域、文化資源の調査を行うとともに、町民との交流を行い、町民に向けたアートワークショップや展示を行う。また日本と台湾の文化の融合をテーマとしたイベントなども実施予定。

農業振興費における修繕料



秦 貞継 議員

問 町所有のパイプハウスの破損に伴う修繕とのことだが、これまでの利用状況は。また、受益者負担はないのか。

答 実証栽培などに利用していたもので、町内の生産者へ貸与していた。費用負担については、使用者の過失がある場合を除いては、町の負担とする内容で契約を締結している。

6月定例会 審議議案と結果

上程議案・概要	結果
条例の一部改正	
町税条例の一部を改正する条例 軽自動車税の種別割の区分のほか新たに特定原動付き自転車（電動キックボード等）を規定するなど	可決
町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 1世帯あたり132,682円（昨年比576円の減額） 1人あたり96,225円（昨年比1,483円の増額）	可決
令和4年度 補正予算	
一般会計補正予算（第3次）7,399万4,000円増額 国の補助事業である過疎地域持続的発展支援事業の採択を受けたことによる関係事業の追加計上等	可決
その他	
町道の路線変更 町道下松村中線が完成したことに伴い町道下松3号線の終点の変更	可決
県市町村総合事務組合理約の一部変更	可決
農業委員会委員の選任について 岩原 稔さん 7町内	同意
農業委員会委員の選任について 江川 政次さん 牧	同意
農業委員会委員の選任について 坂井 康司さん 安座	同意
農業委員会委員の選任について 新田 良一さん 萱本	同意
農業委員会委員の選任について 赤城 タカ子さん 松尾	同意
農業委員会委員の選任について 三留 弘法さん さゆりが丘	同意
農業委員会委員の選任について 江川 新壽さん 上野尻	同意
農業委員会委員の選任について 星 敬介さん 上野尻	同意
農業委員会委員の選任について 五十嵐 新正さん 原	同意
農業委員会委員の選任について 武藤 佐代子さん 柴崎	同意
農業委員会委員の選任について 佐藤 健一さん 橋立	同意
農業委員会委員の選任について 三瓶 常夫さん 山浦	同意
※農業委員会等に関する法律第8条第6項の規定により、利害関係を有しない者として中立的な御意見をいただく方も選任しています。	
請願	
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採択
意見書	
「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	採択
森林整備を一層推進するための森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	採択
報告	
令和4年度町繰越明許費繰越計算書	
喜多方地方土地開発公社に係る経営状況	
株式会社西会津町振興公社に係る経営状況	

〈 特別委員会 最終報告 〉

議会活性化特別委員会

議会活性化特別委員会は、令和元年12月から計15回にわたり開催しました。協議を進める中で下審査機関としてデジタル化小委員会、常任委員会見直し会議を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な会議が開けない中、町民アンケートを行い、その結果をもとに協議を進めるなど議会改革と議会活性化の調査検討について以下の7点についてまとめました。

- ① 町民が議会に参画するための制度について
- ② 政策提言・立案に関する資質の向上について
- ③ 議会のデジタル化について
- ④ 議会基本条例の評価・検証について
- ⑤ 町民アンケート結果に基づく議会活性化の取り組みについて
- ⑥ 常任委員会の見直しについて
- ⑦ その他、議会改革及び議会活性化に関する事項について

農業公社設立調査特別委員会

農業公社設立調査特別委員会は、令和4年12月から計8回にわたり調査及び町との協議を重ねてきました。令和5年3月議会には、中間報告をまとめ今後の事業の進め方として付帯事項を付して議会に報告しました。

(仮称)西会津町農業公社設立に関しては、概ね理解したものとするが、今後も町で進められる設立に向けた進捗など協議の場が必要と考えることから令和5年6月の議会改選後、速やかに(仮称)西会津町農業公社に係る特別委員会を設置し、継続した協議が望まれることとしました。

〈 臨時議会報告 〉

臨時議会は、5月9日に行われ、町から提出された「令和5年度西会津町一般会計補正予算(第2次)」など3件について審議し、原案の通り可決しました。

一般会計補正予算(第2次)384万7千円追加補正

補正予算の主な内容としては、国の物価高騰対策として実施する低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金のうち、ひとり親世帯を除く住民税非課税の子育て世帯などへの給付金に係る関係経費を計上したものです。

専決処分の承認

国の税制改正により地方税法の一部が改正されたことに伴い、町税条例の一部を改正するものと令和4年度補正予算において、国からの特別交付税などの額が決定したこと、除雪費に係る国の追加配分があったことなど、議会を招集する時間的な余裕がなかったことから専決処分をしたものについて承認したものです。

〈 臨時議会報告 〉

臨時議会は、7月11日に行われ、町から提出された「令和5年度西会津町一般会計補正予算(第4次)」など3件について審議し、原案の通り可決しました。

一般会計補正予算(第4次)4798万8千円追加補正

補正予算の主な内容としては、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の追加計上など。歳出では「消費再生商品券事業」や「中小企業等エネルギー価格高騰対策支援事業」など、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したエネルギー価格物価高騰対策にかかる関連事業費などを計上。

主な質疑

**荒海正人議員
商工観光課長** 空き家対策利活用調査等業務委託料の具体的な計画の内容は。町で候補となる物件を選定中であり、こういった活用ができるか官民連携で調査し計画をたてる。

**小林雅弘議員
商工観光課長** 消費再生商品券が町民にいきわたるのはいつ頃になるか。最短で9月11日の週に配布するのを目安に考えている。

**秦 貞継議員
町民税務課長** 消防の消耗品費で計上されている消防安全靴は一足どのくらいの計上か。消防団全員に一足1万2千円(税別)の単価で考えている。

財産の取得について

取得する財産 ケーブルテレビ自主放送創出設備(ヘッドエンド設備)一式1,188万円。
平成19年に購入した自主放送送出設備(ヘッドエンド設備)の耐用年数が経過し、メーカーの修繕が困難になっていることから更新するもの。
※ヘッドエンド設備 各種デジタル放送や地域自主放送などの番組をCATV配信できる信号に変換・混合して伝送路に送出する設備。

**秦 貞継議員
企画情報課長** メーカーによる保証は。また、故障時の対応はどのようになるのか。保証期間は1年である。修繕への対応は充分できており、予備ユニットでの対応も可能である。

取得する財産 除雪ロータリ 1台5,478万円 納入期限 令和6年11月20日
購入から20年以上経過し、老朽化が著しいことから更新するもの。

監査委員の選任につき同意を求めること

議会選出監査委員として、荒海正人議員を選出。

新人議員紹介



しどう まりこ 紫藤 真理子

出身：群岡地区下野尻

家族構成：夫・息子・両親・愛犬

趣味：園芸(バラ栽培)・手芸
ドライブ

世界遺産の資料を読むこと

〈好きな言葉〉

なせば成る なさねば成らぬ何事も
成さぬは人のなさぬなりけり
by上杉鷹山

〈議員としてのモットー〉

まずは「人」。安心して暮らせる町づくりを実現したい。

次に「うるおい」。経済のうるおい、生活のうるおい、こころのうるおいを目指す。

誰一人取り残さない優しい町を！



なかがわ ひさと 仲川 久人

出身：新郷地区呼賀

年齢：56歳

趣味：ゴルフ・料理

ベストスコア(89)しばらくやっていないので122たたきそう！！

〈よく言われること〉

見た目が怖そう (>0<)
中身はやさしいおじさんです。

見かけたら声を掛けてくださいな。

〈座右の銘〉

何事も始めないと出来ない。

〈目指すこと〉

出来る努力をし町民の皆さんに信頼される議員を目指します。



はせがわ ただし 長谷川 正

出身：奥川地区宮野

現住所：尾野本地区さゆりが丘

年齢：64歳

趣味：釣り、麻雀、ボーリング、蕎麦打ち、野菜作り

〈最近言われること〉

蕎麦打ち講習会をまた実施してもらえないか。新蕎麦の時期になったらやりたいと思います。蕎麦

打ちの技術を後世に伝えたい。次期、蕎麦打ち名人を作りたい。

〈好きな言葉〉

神様はいつも見ている。

〈議員としてのモットー〉

町民の声を町政に伝える。町民参加のまちづくり。

町政を問う

ここが聞きたい 6人が登壇

- 荒海正人議員（8ページ）
 - ①子育て支援について
 - ②空き家対策について
- 青木照夫議員（9ページ）
 - ①町の将来像について
 - ②移住定住について
 - ③町の複合施設について
- 小林雅弘議員（10ページ）
 - ①おむつ代助成事業について
 - ②西会津中学生の海外研修について
- 多賀剛議員（11ページ）
 - ①教育行政について（教育長の所信を伺う）
 - ②空き家対策について
- 秦貞継議員（12ページ）
 - ①障がい者福祉について
- 上野恵美子議員（13ページ）
 - ①リビングウィルについて
 - ②物価高騰対策について

※掲載ページは抽選による。

※掲載記事は2項目まで。



一般質問は6月12日から13日までの2日間で行い、議員6人が登壇して、町政の課題などを問いただしました。

質問順序

- ・上野 恵美子議員
- ・小林 雅弘議員
- ・荒海 正人議員
- ・秦 貞継議員
- ・多賀 剛議員
- ・青木 照夫議員

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の事務の執行状況や将来の方向性について報告や説明を求め、町民のための適切な行政運営が進められているかをチェックするものです。

事前の通告に基づき質問

質問者は、議長の許可を得て事前に執行者に通告した内容に沿って質問することができます。

1時間以内なら何度でも質問可能

論点及び争点を明確にし、議論が深まるよう一問一答方式を採用しており、答弁を含めて1時間の時間内であれば何回でも質問することができます。



荒海 正人 議員

子育て支援

問 今後の子育て政策の考え方は

答 様々な世代に対応する支援体制を検討

成のためにも、周知対

がどうか。

育てるとい

ていく。

育て世

実施する。

育て支

育て意



問 公共施設を集約化した複合施設の検討は

答 町民との合同会議で必要性についての提案・言及はない

問 町の公共施設は各地区、地域に、公民館、図書館、憩の家など点在設置されているが、交通の不便と移動、労力などに課題があると思われるがどうか。

あり、土曜、日曜など利用するクラブや団体が多いが、職員が休みである。

だ。

また、図書館は中学校内にあり一般の方の利用頻度が低いよう

あり、利便性の高い複合施設が必要であると考えるが如何か。

答 企画情報課長
令和7年度の次

期町総合計画策定に向け、町民の方の意見を聞き検討する。

問 複合施設は窓口が1ヶ所で36

5日対応が可能である、財政的に有利とされている。少子高齢化社会に向けた「コンパクトシティ」が必要と考えるが。

答 企画情報課長
西会津町では既存の公共施設や民家を再利用する現代の工コ社会に沿った運用をしている。「コンパクトシティ」についても西会津町としてどのような形にするか大切な課題と考える。

答 企画情報課長
協働のまちづくり推進委員会やまちづくりデザイン会議などでは複合施設の必要性の提案・言及はない。

問 憩の家、公民館などは高齢者にとっては利用が不便で



青木 照夫 議員



西会津町老人憩の家



西会津町公民館本館



西会津中学校町民図書館



小林 雅弘 議員

福祉介護

問 おむつ助成額を月5,000円に増額を

答 財源の確保について慎重に検討する

問 雪現在行われている在宅高齢者のおむつ助成額はいくらか。

答 福祉介護課長 3,000円の

「紙おむつ等給付券」を年間12枚支給している。

問 助成対象者の条件はどのようなものか。

答 福祉介護課長 65歳以上の方

で、日常生活を営むのに支障がある程度に寝たきりの度合いや認知症の度合いが進行しており、介護認定調査などにおいて排泄が全介助であること、そして、ひと月のうち14日以上は在宅で生活していることが条件である。

問 介護者の経済的負担を軽減するために、おむつ助成額を月5,000円以上に上げるべきと考えられているか。

答 福祉介護課長 事業を拡大する場合に必要な財源の確保について慎重に検討する。

問 関連して、乳幼児のおむつ助成制度をつくってはどうか。

答 福祉介護課長 その必要性などについても今後検討していく。



西中生の海外研修

問 西中生に海外研修を取り入れては

答 今までの取り組みを検証し検討する

問 町で行われた「若者の海外研修」はどのようなものだったのか。

答 商工観光課長 平成3年度から

6回にわたり、国際的視野に立った人材の養成を図り、若者などの定住を促進し、町の発展と活性化に寄与することを目的に、米国、カナダ、ドイツ、フランスなどに7日間の日程で派遣し、派遣団の総人数は84名である。

問 中島村や本宮市は、中学生の海外研修を行っている。

西会津中の3年生を対象に、将来を担う人材育成のため、英語の習得だけでなく異文化を

肌で感じるために、海外研修を行ってはどうか。ただし、現在の保護者負担を超えないものとする。

答 学校教育課長 現在、ブリティッシュヒルズでの「英語

教育・異国文化体験事業」の実施や外国語指導助手による生きた英語教育や国際理解を行っている。海外研修については、こうした取り組みを検証しながら検討していく。



問 教育行政のあり方について

答 誰一人取り残さない教育を目指す

問 少子高齢化が急激に進む中、教育を取り巻く環境は厳しさを増している。また、社会や経済のグローバル化、人工知能の進化、部活動の地域移行、教職員の働き方改革など、今まで以上に取り組まなければならない課題も山積している。こうした時代だからこそ何が重要なのか改めて見つめなおすことも必要である。今後本町の教育行政のトップとして、その信

念と教育行政のあり方について教育長の所信を伺う。

教育長

答 今まで取り組んできた、不易と流行を教育基本とし、産官民の知のリソースを活用とした教育改革を今後



多賀 剛 議員

も進める。教育長就任にあたり、この教育改革の継承・発展が私の使命である。産官学民連携教育プランの基本理念のもと、コミュニティスクールとしての地域の教育力を活かした地域に開かれた学校づくり、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指したICTの積極的な活用、リーディングスキルテスト

を活用した読解力の向上、幼・保・小・中学校並びに家庭・地域の連携教育カリキュラムの開発と実践、そして西会津子ども研幾塾による人材育成、西会津かるたによる地域理解等これまでの取り組みを継続し発展させる。様々な課題への対応としては、教育現場や地域の声を聴きながら、慎重に進めていく。学校現場の力、地域の力を最大限に生かして、誰一人取り残さない教育、児童生徒が主体的に自分自身や集団を高められる教育の実現を目指していく。

空き家対策

問 包括連携協定の締結による期待は

答 空き家の発生抑制及び利活用がより一層図られる

問 今般、本町は全国空家再生協会と全国空家アドバイザー協議会西会津支部と空き家利活用推進に向けて包括連携協定を締結した。この協定により、どんなことが期待できるのか。

答 町民税務課長 この目的は、いわゆる所有者不明土地について、その発生の予防や土地利用の円滑化をはかるものである。これにより、公共事業や民間取引などの土地の利活用や諸問題の解決を図るものである。今後はその周知に努めていく。

問 本年度スタートした相続土地国

民が連携した

様々な取り組みを行うことで、空き家の発生抑制及び利活用がより一層図られる。





秦 貞継 議員

障がい者福祉

問 町民への理解醸成は

答 徐々に段階を踏みながら進めたい

町内で障がいを
持つ方々の人数

は。
福祉介護課長

本町における身
体障がい者手帳、精神

障がい者保健福祉手
帳、療育手帳の取得者
は令和5年6月1日現
在で497人と把握し
ている。生活状況とし
て令和2年度に65歳未
満のアンケート回答者
95人の状況は、家族と
同居している方が56
人、一人暮らしが9
人、福祉施設で暮らし
ている方が11人、グ
ループホームで暮らし
ている方が9人。就労
状況は95人中23人が会
社勤めや自営業などの
収入を得る仕事をして
いる。これとは別に、
西会津授産場で就労支
援を受けている方が令
和5年4月1日現在で
27人いる。

福祉介護課長
身体障がい者手
帳、療育手帳保有者に
関しては人口減少と共
に減少傾向であるが、
精神障がい者福祉手帳
保有者に関しては増加
傾向にある。

障がい者が自立
できるように支
える体制は。

福祉介護課長
障がいのある方
が就労により社会に参
加することは、経済的
な自立だけでなく、生
きがいや本人の自己実
現にもつながる。町で
は関係機関と連携し、
就労や社会参加に向け
た支援を行っている。

授産場の重要性
についてはどの
ように考えるか。
福祉介護課長
就労が難しい
方々を支援する、町の
中に唯一ある重要な施
設と考える。

町が考える障が
い者との共存の
理想像は。

福祉介護課長
障害のあるなし
にかかわらず、同じと
ころに住んでいるの方
々がお互いを気にか
けながら生活すること
で安心を得ることが重
要と考える。また、障
がいのある方に関し
ても、人の役に立
てる場があれば、自
己実現につながり、
社会貢献につながる
地域になることが
望ましいと考える。

町民に対し、障
がい者との共存
理解が得られるよ
うな取り組みは行
っているか。

福祉介護課長
障がい福祉理解
に関しては十分な周
知とは言えなかつた
かも知れない。
CATV、広報
誌など、定期的
な情報発信が重要と
考

えるが町の考えは。
福祉介護課長
徐々に段階を踏
んで情報発信を行
っていききたい。

まずは町役場に
おいて障がい者
雇用に向けた理解
促進、町内業者へ
の理解

を徐々に深めては
どうか。
福祉介護課長
障がい者雇用に
対する理解を促進
し、受け入れ態勢
の整備を総合的に
考えながら努力
したい。

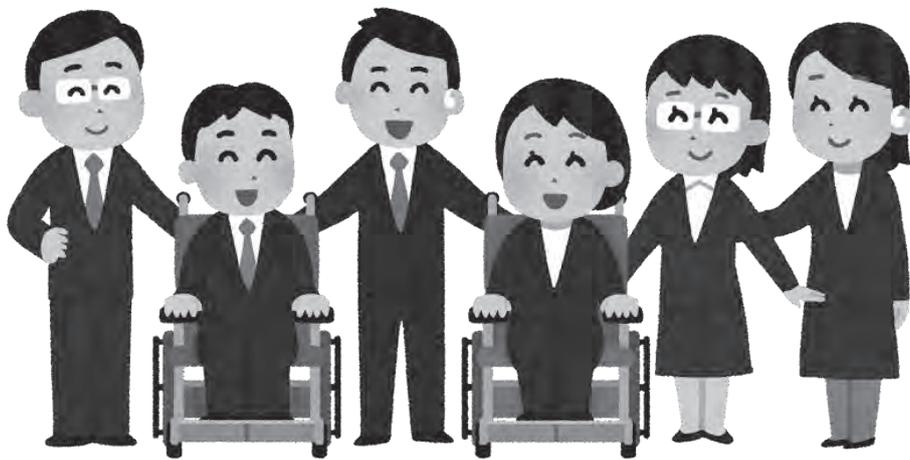
障がい者の人口
の推移の見直し

障がい者の人口
の推移の見直し

障がい者の人口
の推移の見直し

障がい者の人口
の推移の見直し

障がい者の人口
の推移の見直し



物価高騰対策

問 現在の物価高騰に対する町独自の支援対策は

答 現在、具体的な支援内容を整理・検討している

問 現在の物価高騰に対して国の事

業として住民税非課税世帯などに給付金が支給される。しかし、物価高騰は住民税非課税世帯のみならず町民の生活に大きな影響を及ぼしている。そこで、現在の物価高騰に対する町独自の支援対策の考えは。

町長

国内では現在も国際的な原材料価格の上昇や円安などにより、日常生活に密接な

エネルギーや食料品などの価格上昇が続き、国民生活に大きな影響を及ぼしている。町ではこれまで、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に町単独費を上乗せして、総額8億7,719万円の支援策を講じてきた。具体的に

は、町民一人当たり5千円の消費復活商品券の配布、及び企業や介護事業所、農業者などへの事業者支援である。この交付金は本年度も町全体で4,941万8千円交付される見込みである。町としては、昨年度同様に町民を対象とした生活者支援策と企業や農業者などへの事業者支援策に取り組んでいく考えであり、現在、町商工会などからの要望を踏まえ具体的な事業内容を整理・検討している。



上野恵美子 議員

一般質問

リビングウィル

問 リビングウィルの取り組みは

答 普及啓発に努めていく

問 リビングウィルの必要性をどのように捉えているのか。

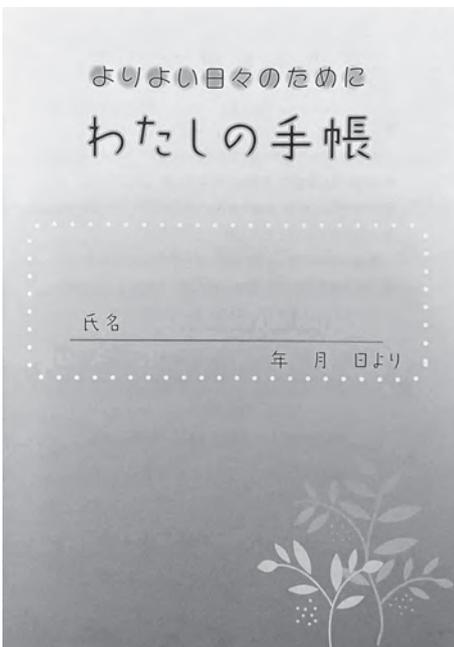
答 福祉介護課長

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいることを自分自身で前もって考え、家族などと話し合い共有しておくことは有効な取り組みである。

問 現在の取り組みは。

答 福祉介護課長

65歳到達時の介護保険証交付説明会で、人生会議手帳として「わたしの手帳」を配布し、今後の暮らしに必要な支援や医療・介護についての希望を記入しておくことの有効性を説明した。75歳到達時の後期高齢者医療保険証交付説明会で、自らが望む人生の最終段階における医療やケアについて家族などと共有しておくことの重要性を説明し理解を促している。今後普及啓発に努めていく。



議会の新体制が決定！

7月11日に開催された第4回臨時会において、正副議長をはじめとする議会構成を決定しました。新体制となった西会津町議会を紹介します。

議長・副議長あいさつ

議長 伊藤 一男

更なる議会改革・活性化を推進し、個々のスキルアップと議会力の向上を図り、町民の皆さんから信頼され期待される議会を目指し頑張ります。



副議長 秦 貞継

時代の流れに取り残されることなく、町民の皆様の声を大切にし、町民の皆様に支持される議会を築くため、頑張ってまいります。



総務常任委員会

委員長	荒海 正人	副委員長	小林 雅弘	委員	武藤 道廣
委員	猪俣 常三	委員	紫藤眞理子	委員	秦 貞継

経済常任委員会

委員長	三留 正義	副委員長	仲川 久人	委員	青木 照夫
委員	上野恵美子	委員	長谷川 正	委員	伊藤 一男

広報広聴常任委員会

委員長	上野恵美子	副委員長	秦 貞継
-----	-------	------	------

(広聴分科会)

分科会長	上野恵美子	副分科会長	三留 正義	委員	武藤 道廣
委員	青木 照夫	委員	猪俣 常三		

(広報分科会)

分科会長	秦 貞継	副分科会長	小林 雅弘	委員	荒海 正人
委員	長谷川 正	委員	仲川 久人	委員	紫藤 眞理子

議会運営委員会

委員長	武藤 道廣	副委員長	三留 正義	委員	青木 照夫
委員	荒海 正人	委員	小林 雅弘	委員	仲川 久人

西会津町農業公社設立調査特別委員会

委員長	仲川 久人	副委員長	三留 正義	委員	議長を除く全員
-----	-------	------	-------	----	---------



1番 紫藤 真理子

当選回数：1期

出身：下野尻

所信表明

生活に即した問題を町民目線を取り組んでいきたいと思ひます。



7番 秦 貞継

当選回数：3期

出身：萱本

所信表明

町民の皆様の声を胸に、西会津町の未来のために一生懸命頑張ります。



2番 仲川 久人

当選回数：1期

出身：呼賀

所信表明

「無信不立」町民に信頼されなければ町政は成り立たず。



8番 伊藤 一男

当選回数：4期

出身：下野尻

所信表明

町民の皆さんから信頼れるように、これからも精進して参ります。



3番 長谷川 正

当選回数：1期

出身：さゆりが丘

所信表明

これからも町民の皆様のため町発展のために働いていきます。



9番 三留 正義

当選回数：4期

出身：4町内

所信表明

何事も基本から取り組み、皆さんと一緒に前進します。



4番 上野 恵美子

当選回数：2期

出身：4町内

所信表明

1期目の経験と学びを土台にして、2期目も町の発展のために力を尽くします。



10番 猪俣 常三

当選回数：4期

出身：道目

所信表明

「所信を忘れずに」の言葉の如く、議会活動に専念し、町民の福祉向上に努める。



5番 小林 雅弘

当選回数：2期

出身：上野尻

所信表明

議員の仕事は、行政のチェックと提案です。実行できるよう勉強し、力をつけていきます。



11番 青木 照夫

当選回数：6期

出身：9町内

所信表明

議員は町民の代表として地域住民の声を行政に伝えるのが第一です。



6番 荒海 正人

当選回数：2期

出身：小縄木

所信表明

今あるまちのカタチを尊重しながら、未来に向けた議論をしていきます。



12番 武藤 道廣

当選回数：8期

出身：新町

所信表明

信頼・情熱・実行をモットーに暮らしやすいまちづくりを目指します。

この人にインタビュー

このコーナーでは、町内で活躍されている方を取り上げ紹介しています。今回は、今期で議員を引退し、西会津町体育協会会長に就任されます小柴敬^{こしばけい}さんに、就任後の抱負などを伺いました。

一 就任後に取り組みたいことは？

この3年間、コロナの影響があって、体育行事や各種大会が開催されなかったが、親睦を深めるための町内行事、大会などを復活させたい。

体育協会の本来の目的は、町民の体力の向上と健全な体育の振興であり、公民館行事のみでなく健康増進課や、介護福祉課との横の繋がりを模索しながら、町民の健康長寿の延伸に取り組んでいきたい。

一 市町村対抗競技への対応は？

昨年の野球大会はベスト8に進出し、チームの士気も向上していると伺っている。駅伝やソフトも含め、練習環境の整備やバックアップ体制を作り、選手が大会に集中して取り組める環境を整えて行きたい。



市町村対抗福島県ソフトボール大会



ふくしま駅伝



市町村対抗福島県軟式野球大会

議会の動き

**福島県町村議会議長会
から4名の議員、1名
の事務局員が表彰。**

令和5年6月5日に開催された福島県町村議会議長会第1回定期総会において、青木照夫議員（写真中央右）が町村議会議員として20年以上在職、伊藤一男

議員（写真中央左）、三留正義議員（写真右）、猪俣常三議員（写真左）の3名が町村議会議員として12年以上在職、また、長谷川事務局長が議会事務局職員として10年以上在職した功労により、自治功労者表彰を受賞しました。



6月9日の議会定例会において表彰状が伝達されました。

編集後記

議会だより162号の発行をもって、広報分科会最後の仕事となりました。会長として、多くの皆さんに読んでいただくために、どのような紙面づくりがいいのか、常に委員全員で試行錯誤しながら編集に取り組んできたところですが、今後、新しいフレッシュな委員のもとで、多くの皆さんに読んでいただけるような紙面づくりを期待して、退任のあいさついたします。4年間ありがとうございました。伊藤一男

編集委員（広報分科会）

分科会長 秦 貞継
副分科会長 小林 雅弘
委員 荒海 正人
委員 長谷川 正
委員 仲川 久人
委員 紫藤眞理子